

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。	
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)	
留学先大学名	香港中文大学 (国名: 中国 )		
留学先学部名(またはプログラム名)	IASP (International Asian Study Program)		
留学期間	2011年 9月 ~		2011年 12月
学部/学府・年次	経済 学部/学府	4年次~	4年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間: )		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	就職活動をした後に留学をしました。 単位を揃えてから留学をしました。		
進路の予定	①. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から ) ②. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) ③. その他(具体的に: )		
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	日本で6月ごろに就職活動をしました。		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?			
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?			
<b>1. 留学先大学について</b>			
授業(カリキュラム等)の概要について	私は IASP というプログラムに参加しました。このプログラムでは最低12単位最高で18 単位分の講義を履修することができます。1つの講義は一週間に3時間あり、講義のほかにチュートリアルと呼ばれる補講も毎週1時間ありました。希望者には中国語の講義も履修することができます。講義は英語、中国語、広東語で開講されております。講義内容は、プレゼンテーション、グループワーク、発言が求められるなど非常にやりがいがありました。また、宿題の提出が毎週求められました。		

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面について          前述に記載したように、講義中にプレゼンテーションなど参加型の講義が多いので、ある程度の英語運搬能力が求められます。大学側がネイティブスピーカーと話せる食事会を提供してくれるので、楽しみながら語学を身につけることができます。</p> <p>勉学面について          24 時間自習室が利用可能です。チュートリアルと呼ばれる補講も毎週開講されており、わからない点はすぐに解決できるようになっています。勉学をする環境は十分に整っていました。</p> <p>精神面について          キャンパス内には無料で利用できる病院があります。気軽に相談をしたり、薬をもらうことができるので安心して大学生活を満喫できます。またキャンパス内にはトレーニングルーム及びプールがあり、運動をしてストレスを発散させることもできます。</p> <p>生活面について          キャンパス内には全部で 5 つの寮があり、私は NEW ASIA の Grace Tien Hall に住んでいました。寮内には洗濯機、乾燥機など生活に必要なものは何でもそろっています。キャンパス内には、スーパーマーケット、銀行、ATM など生活しやすい環境が整っています。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>大学は山の上に位置しており、「百万ドルの夜景」に匹敵するほどの壮大な景色を満喫できます。講義の選択によっては、歩いて 20 分ほどのところに教室が離れていることも考えられるので、キャンパス内の移動手段は主にバスを利用します。キャンパス内には、食堂が 5 つほどあります。食堂には麺類、米類、バーガーなど世界のありとあらゆる食べ物が 20HKドルくらいでそろっています。大学には、交換留学生や現地の学生と気軽に話せる環境があり、私は留學生活を存分に楽しめました。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>アドバイスは3つあります。1つ目のアドバイスは、ルームシェアをしたほうが良いということです。大学先の講義の履修の仕方やおいしいお店などルームメートは何でも知っています。また、ルームメートと気軽に、些細なことを相談したりできるので心強いです。私の場合、ルームメートとキャンプをしたり街に出かけることが多かったのも、ルームメートのおかげで留学を楽しくできました。もちろん、部屋をシェアする以上最低限のルールを守る必要はありますが、それ以上に得るものが多かった気がします。</p> <p>2つ目のアドバイスは、選択する講義のレベルを把握したほうが良いということです。香港中文大学は世界ランク30位前後に位置する有力大学です。特に、香港は金融セクターが世界でもトップクラスに位置しており、世界からビジネスを学ぼうと集まってくる学生が多いです。現に、交換留学生の大半はビジネス専攻でした。その意味で、開講されている講義はレベルが高いものが多く、宿題の量も多いです。あまりに難しい講義を取りすぎると、講義についていくのも大変ですので、バランスを考えて履修することをお勧めします。</p> <p>3つ目のアドバイスは、できる限り日本人と一緒に行動しないほうが良いということです。せっかく留学するわけですので、中国人や世界各国から来た交換留学生と一緒に勉強やアクティビティをしようとするべきです。もちろん、不安が多い最初のころは日本人であつまりたい気持ちもわかりますが、留学でしかできないことを考えて、その上で異文化に触れてチャレンジしたほうが楽しいと思います。</p>
-------------------------------	--

<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港中大学</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>大学からビザの取得に必要な書類が送られてくるので、それを記入して、香港中文大学へ郵送します。私の場合、一週間ほどでビザが送られてきました。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1ヵ月</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	香港の物価は日本より安いので、生活が苦しくなることはさほどありません。香港の気温は日本よりあたたかいです。私の場合、11月の半ばまでは半そでで生活しておりました。冬は肌寒いので、冬服は必要です。日本に比べて、宿題の量がとてつもなく多いので、平日は勉強に集中して、土日は外出しておりました。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 60000 円/月  (生活費内訳)住居費: 円、光熱水料: 円、通学費: 円、食費: 円、電話代: 円、インターネット代: 円、書籍代: 円 その他:(具体的に)  学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に: )
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC、変圧器(オリエンテーションにて10HKドルで購入可能)、スーツ、デジカメ
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	香港の治安は日本と大差のないくらい安全だと思います。そうはいつでも、人混みの多いところでは用心したりすることが大切です。キャンパス内でパソコンなどの機器類の盗難が度々発生しており、注意が必要です。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	手数料などを考えると、クレジットカードからキャッシングをする方法が最も便利で換金率がいいと思います。もし、日本円を香港ドルに交換するなら、重慶マンションにある両替所のレートが一番良いです。

<b>4. 住居、生活環境</b>		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )	
住所／電話番号	Grace Tien Hall	
費用(月額)	15000円	
どのようにして見つけたか	大学のホームページにアクセスして、どの寮に住みたいかの希望を出しました。その後、大学から連絡が来ます。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推薦できます。食堂が歩いて2分の距離にあり、バス停も近いです。特に、このバス停が始発ですので、確実にバスに乗ることができ便利です。寮の中には24時間勉強できる学習室、テレビルーム、卓球・ビリヤードルームなど、生活環境が最適です。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報		
<b>5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト</b>		
サイト名	URL	コメント

--	--	--

**6. その他の特記事項**

--